

弘前薬剤師会広報

支部通信

- 7/1 弘前市民健康推進協議会
弘前総合保健センター
- 7/6,7 弘前市民健康まつり
弘前総合保健センター
- 7/6 弘前薬剤師会納涼祭 弘前プラザホテル
- 7/10 弘前市急患診療所対応薬局委員会
さいとう調剤薬局 本町店
- 7/11 第23回薬剤師生涯セミナー
土手町コミュニティパーク
- 7/17 三師会役員会 一休寿司
第2回津軽地区高齢者の地域医療を考える会
情報交換会 弘前大学保健学部
第4回弘前市薬剤師会親睦委員会
さいとう調剤薬局本町店2階会議室
- 7/20 県薬役員会 県薬会館
- 7/23 支部・弘前薬剤師会 役員会
弘前市総合学習センター
第1回ひろさき健康福祉改革プロジェクト
チーム会議 弘前市役所
- 7/24 第2回弘前市国民健康保険運営会議
弘前市役所
- 7/25 第24回薬剤師生涯セミナー
ホテルニューキャッスル弘前
- 7/26 第1回弘前市地域包括支援センター
運営協議会 弘前市役所
- 7/29 第3回在宅医療推進委員会
さいとう調剤薬局 本町店

役員会だより

第5回役員幹事会議事録

日時：平成25年7月23日（火） 午後7時15分
場所：弘前市総合学習センター
出席者：前田会長、中山、鈴木、坂本、鈴木、白滝
各副会長、八木橋専務、上田、相馬、大川、葛西、
奈良、齋藤（武）、加藤、吉岡、工藤、津川、田澤、
佐々木（直）各幹事、櫻庭監査役

一般社団法人 青森県薬剤師会
弘前支部広報 第204号
発行日 2013年（平成25年）8月1日
発行所（一社）青森県薬剤師会 弘前支部
弘前市富田3丁目14-1
TEL (0172) 32-6205 FAX (0172) 32-9199
<http://hirosakiyaku.com/>

●報告事項

- (1)第22回薬剤師生涯セミナー（6/19）
社保/OTC委員会 参加人数148名（薬剤師115名）
- (2)第23回薬剤師生涯セミナー（7/11）
在宅医療推進委員会、参加人数66名
- (3)ダメ・ゼッタイ運動（6/22）
地域保健委員会 薬学生を含めて約30名参加。
- (4)市民健康まつり（7/6）
地域保健委員会
- (5)地域保健委員会（6/25）
ダメ・ゼッタイ、健康まつり、禁煙支援フォーラム
- (6)三師会役員会（7/17）
・出席者：前田会長、八木橋専務、磯木、中山各副
会長、齋藤監査役
・三師会総会 9/18（水）パークホテル
18時30分～総会、19時～特別講演
総会后懇親会5000円 補助あり。
- (7)迷球会（7/14）親睦委員会
・南黒三師会と合同コンペ
弘前薬剤師会からは4名参加、優勝：医師会
- (8)納涼祭（7/6）親睦委員会
・参加者88名（内子供2名）
祝儀等で¥23,385 残金あり。
- (9)第4回親睦委員会（7/17）親睦委員会
・ボウリング大会8/10、現段階で申し込み14名。
- (10)弘大緩和ケア公開講座（7/18）
在宅医療推進委員会 29名参加、次回予定10月。
- (11)急患診療所対応薬局会議（7/10）田澤幹事
・小児科リストが2009年から作られていない。
・現在はリスト以外の薬も出ている。
・主に処方を受けている弘前市薬剤師薬局津軽、
調剤センターのリストと、最近急患診療所で処方さ
れた医薬品をもとに新しいリストを作成する。

(12)夜間電話相談事業第6クール(8.9.10月)

- ・なかよし調剤局、ひらかわ調剤薬局が新規参加してくれた。
- ・青森支部との話し合いで9月から電話受付時間を23時までに変更、1時間短縮となった。

(13)その他委員会報告

<在宅医療推進委員会>

- *ケアマネ総会参加(6/28)、ケアマネアンケート、まちかど相談薬局について講習会を行なった。
- *「津軽地域の高齢者医療を考える会」(7/17)
 - ・相馬、齋藤、川末が参加。
 - ・看護師、ヘルパー、訪看、ケアマネ、医師、ソーシャルワーカー等が参加。
 - ・次回薬剤師がどのような事ができるのかを発表する予定。(9/4)

<地域保健委員会>

*カルチャアロード9/15

雨天順延は9/16、雨天再順延は9/29である。

<実務実習員会>

*実務実習DVD座学(9/8)、県薬会館

<広報委員会>

*広報について

- ・研修会の情報がギリギリのものがあるため、研修会は日程が決まり次第早くても広報に乗せる。
- ・広報到着予定日以降10日間前後の研修会等の情報は載せないようにする。
- ・各委員会から連絡が着次第HPには載せている。

●協議(審議)事項

(1)弘大FAXコーナー

- ・担当者変更 新規:佐藤さん 退職:長谷川さん
- ・7月末から1名増員予定。
- ・弘大FAXコーナーの機械の消耗が激しく送信エラーが多くなっているため新規購入。
- ・予定見積もり250万円。
- ・現在は代替機も視野にいれ早期導入を準備中。

(2)災害時対応薬局調査

- ・以前アンケートを行なっているため、雛型がある。
- ・開局委員会と災害対策委員会で新しい雛型を作る。
- ・医師会側との連絡は前田会長。黒石病院薬剤部米澤先生にも依頼されていたため、完成後に連絡する。

(3)開局薬局班編成

- ・現段階で事務局にポスター等の配布物を取りに来て下さいと連絡をしても9割の薬局も取りに来ない。
- ・配達を専務はじめ、各役員幹事で行っており負担が大きすぎるため、班を作り、班長に事務局に取りに来てもらう。班長は持ち回りで行う。
- ・卸を通して配達する案も出たが、「公取法上問題ないのか?」「卸側の意見を聞かなくてもよいのか?」などの意見により保留。
- ・現段階では班編成を作る予定。八木橋専務と開局委員長工藤幹事を中心に検討する。

(4)役員幹事会の準備

- ・毎回ペットボトルのお茶を準備していたが各自購入する事にする。役員会参加1回につきお茶代として100円支給する(年度最終回にまとめて受け取る)。

(5)その他

<吸入指導について>

- ・県薬には弘前で行うことになる事業で10月には弘前の全薬局で行えると報告している。
- ・プレ実施では薬剤師薬局16名、マエダ調剤薬局中央店3名。
- ・連絡先が弘前市薬剤師薬局加藤になっているが、吸入指導研究会などにしたい。
- ・研修会予定は9月。Dr.山本、鳴海とは連絡しているが、アストラゼネカとはまだ連絡を取っていない。トラブル例など事例を集めて研修する予定。

●県薬役員会報告

(1)県薬理事会(7/20)

*新規薬局集団指導

- ・6/18青森県水産会館で新規薬局の集団指導が実施された(対象:H24/4/1~H25/3/31新規開局薬局)。
- ・別に毎年行われている新規個別指導もある。

*八戸個別指導(7/3)

- ・ビスホスホネート剤の顎骨壊死の副作用を歯科受診予定者にはしっかりと指導する。

*一回量処方について

- ・県内病院でコンピューター入れ替えのタイミングで一回量処方にする方向。
- ・現段階で保険処方箋は一日量を記載していないといけない。一回量と一日量の併記が必要。
- ・一回量のみ記載の場合はすべて疑義照会対象。

*PS 講習会

- ・ 県民福祉プラザ県民ホール(10/20)

内容①セルフメディケーションのための一般用医薬品を適切に提案できる。

内容②JPALS ポートフォリオへの実践記録の仕方。

弘前支部は三師会ゴルフコンペ開催予定日である。

(2)青森県薬剤師会総会 (6/22)

弘前支部の齋藤(士)、櫻庭両監査役が表彰を受けた。

(3)その他、県薬出向委員会報告

*県民公開講座

- ・ 健康あおもり 21/県民公開講座/禁煙セミナー2013

9/1 (日) 10:00 開催 場所:弘前文化センター。

声掛けして人数を集めるようにする。

*まちかど介護相談薬局講習会

- ・ 今年度1月までに研修会を行う予定。

*青森県学術大会(11/10)

- ・ プラザホテルむつにて開催。
- ・ 11/9 に同会場にて懇親会予定。

宿泊もすでに押さえており 5000 円くらいの予定。

- ・ 特別講演を市民公開講座とする予定。

演者:柳谷 蝠丸

- ・ 市民向けに薬剤師業務のブースを作る。

例) 疑義照会、OTC 対面販売、在宅医療・等

*来年度学術大会

- ・ 順番から行くと来年度は弘前の予定。
- ・ 会場手配、日程決定など特別委員会を設置(長:津川担当副会長)して運営する。
- ・ 今年度の学術大会閉会式で日程場所を発表できるよう早めに決める。

ケアマネージャー総会



7/11 第23回薬剤師生涯セミナー



委員会だより

広報情報委員会

● 弘前市立病院

《 新規院外登録薬品 》

アコファイド錠 100mg

イーケプラ錠 250mg

オングリザ錠 2.5mg

オングリザ錠 5mg

トピナ錠 50mg

ラミクタール錠 25mg

リセドロン酸ナトリウム錠 17.5mg 「ケミファ」

● 弘前大学医学部附属病院

《 新規院外登録薬品 》

エピペン注射液 0.15mg

タクロリムスカプセル 1mg 「ファイザー」

エンブレル皮下注 50mg ペン 1.0mL

アリセプトドライシロップ 1% (0.3g/包)

アリセプトドライシロップ 1% (0.5g/包)

アリセプトドライシロップ 1% (1.0g/包)

イノベロン錠 100mg

イノベロン錠 200mg

エヌケーエスワン配合カプセル T20

エヌケーエスワン配合カプセル T25

ミニリンメルトOD錠 60μg

リバロ OD錠 1mg

リバロ OD錠 2mg

● 国立病院機構弘前病院

《 新規院外登録薬品 》

ツムラ十全大補湯エキス顆粒 (医療用) 2.5g/包

親睦委員会

納涼祭を終えて

親睦委員会 小林 譲

7月6日(土)に、弘前プラザホテルにて毎年恒例の「弘前薬剤師会納涼祭」が開催されました。

毎年恒例の行事ということで、今年度も多数の先生方に参加していただくことができ、大変うれしく思っております。

甚平や浴衣などの堅苦しさのない格好で、みなさんに羽を伸ばしていただけたのなら幸いです。

今年度は参議院選挙もあり、薬剤師だとしても政治の世界に目を向けていかなければならない時代となっています。今回の納涼祭には、薬剤師連盟にて手腕を振るわれている先生方の参加もあり、ただ楽しむだけではなく、次世代の薬剤師像について考えることのできる納涼祭になったと思います。

薬局薬剤師だけの繋がり、支部だけの繋がりではなく、病院薬剤師、他支部や卸業者の皆さまなど、様々な関わり合いの契機となればよいと願って、今後も懸命に楽しめる企画を練りたいと考えておりますので、今回は残念ながら予定の合わなかった方も、次回には是非ともご参加ください。

最後となりましたが、ご参加いただいた皆様、運営に携わって頂いた委員の皆様に感謝申し上げます。

「ゴルフサークル」のご案内

【8.9月の開催予定】

8月8、22、29日

9月5、12、19、26日

時間：20時～

場所：きものセンターゴルフ練習場

弘前市大字小沢字井沢 84

9月29日には青森県薬剤師会開催の石館守三杯があります。練習会もよろしくお願ひします

連絡先：親睦委員会委員長 齋藤武

TEL：0172-36-1310

携帯：090-6229-0380

守三杯ゴルフコンペ開催のお知らせ

日時：平成25年9月29日(日)

場所：東奥カントリークラブ

集合時間：7時20分

スタート時間：7時48分

参加費：3,000円

申込み締め切り：9月18日(水)

申し込み先：青森市薬剤師会

FAX 017-742-8859

※宿泊希望者にはホテルをご紹介します。早めにお申し込みください。

※申込み用紙は、弘前支部HPに掲載していますのでご覧ください。

地域保健委員会

カルチュアロードの参加協力のお願ひ

本年も下記内容にて、カルチュアロード出展いたします。本事業は、「健康日本21」啓発事業の一環で、市民に正しい薬の使い方、禁煙・禁酒の啓発などが主な目的です。

今年も会員皆様の多数ご参加、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

日時：平成25年9月15日(日) 9:00~16:00

(雨天延期の場合は16日、16日雨天は29日)

場所：土手町 交差点 菊池薬局前

内容：禁煙啓発パンフレット配布、
スモーカーライザー体験、受動喫煙防止事業のPR、お薬相談コーナー、健康食品の試食・試飲等。

参加申し込みは9月3日までに電話かFAXでお願ひいたします。

地域保健委員会委員長 奈良卓

TEL：88-6682 FAX：88-6683

「市民の健康まつり」参加報告

地域保健委員会 佐藤 真由美

7月6日(土)、7日(日)弘前総合保健センターにて第27回市民の健康まつりが開催され、薬剤師会弘前支部では7月6日(土)に参加、出展致しました。

前田会長はじめ薬剤師の先生方、薬学生の方には朝早くの準備より参加して頂きありがとうございます。ありがとうございました。

昨年に引き続き青汁としょうが湯の試飲のほか、今回新たな試みとしてスポーツファーマシストのコーナーを設け、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対して薬の正しい使い方、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行いました。前回同様子供向けのミニ薬剤師体験コーナーも設置し、終了時間まで大変多くの方にいらして頂きました。

お薬相談も数件あり、薬剤師会として微力ながら市民の方々に貢献出来たのではないかと考えております。

市民の健康まつり等のイベントを通じて市民の皆様方に、薬剤師としての活動を広く周知して頂けるよう、来年も新しい企画を取り入れながら、事業に取り組んでいきたいと思っております。

生涯学習委員会

青森県薬剤師会学術大会演題募集

生涯学習委員長 上田寿夫

平成25年11月10日にむつ市プラザホテルむつで開催される青森県薬剤師会学術大会の口頭発表及びポスター発表の演題を募集中です。

日々の業務の中から生まれた疑問の追求、業務改善の取り組み、一緒に考えたい問題等発表してみませんか？演題募集要項は県薬HPをご覧ください。

演題申し込み及び抄録提出の締め切りは、平成25年9月9日(月)です。

第25回 薬剤師生涯セミナー

日時：2013年9月11日(水) 19:00～20:45

場所：弘前市総合学習センター

弘前市末広4-10-1 TEL:0172-26-4800

【製剤紹介】19:00～19:15

「ネオキシテープ」 旭化成ファーマ株式会社

【特別講演】19:15～20:45

「OAB治療の実際」

まるも泌尿器科内科クリニック

院長 佐藤 元昭 先生

共催：青森県薬剤師会弘前支部

旭化成ファーマ株式会社

日本薬剤師研修センター集合研修1単位

吸入指導連携について

弘前市薬剤師薬局 加藤 傑

平成25年6月5日、ホテルニューキャッスル弘前にて第20回薬剤師生涯セミナーが開催され、弘前地区を中心とした吸入指導連携の提案がありました。これは病院側から発行される吸入指導依頼書をもとに保険薬局側が患者さんの吸入手技を評価し、病院側に情報のフィードバックをしていこうという内容です。

唐突な話かもしれませんが、きっかけとなったのは先日青森県で薬剤師向けに行われた吸入指導に関するアンケート結果によります。

吸入指導にかかる時間や再指導の割合など様々なデータが出てきましたが、結論から言えば吸入薬を使用中の全ての患者さんが正しい吸入手技を身につけているわけではありません。

この問題を解決すべく5月某日、医師3人、薬剤師3人による吸入指導連携ミーティングが行われました。(弘前大学医学部附属病院呼吸器科保険管理センター教授の高梨信吾先生、独立行政法人国立病院機構弘前病院呼吸器科医長の山本勝丸先生、ナルミ医院院長の鳴海晃先生、弘愛会病院薬局長の上田寿夫先生、八木橋調剤薬局の八木橋雄一先生、弘前市薬剤師薬局の加藤傑) 参考にしたのは群馬県薬剤師会の吸入指導研究会であり、以下に詳細を述べます。

①医師は吸入指導対象の患者に対し、吸入連携(病院と保険薬局間の患者情報共有と吸入治療のサポート)の説明と同意確認を行います。

②医師は吸入指導依頼書、吸入指導評価表の破線内に必要事項を記入し、院外処方と共に患者に渡します。

③患者は依頼書および院外処方箋を保険薬局に提出します。

④保険薬局の薬剤師は依頼書の内容を確認し、各デバイスの指導箋を元に吸入指導を行い、評価表を記入します。

⑤保険薬局の薬剤師は評価表を依頼元の病院にFAXします。

⑥依頼書を発行する頻度は医師の判断に委ねるものとしませんが、症状のコントロールが良好な場合でも定期的に吸入指導を行い、手技や理解度の確認を行うことを推奨します。

患者の同意が得ることができれば、この連携により月1回の服薬情報提供料15点（在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定している患者については算定しない）を加算できます。また、このような吸入連携はモデルとした群馬県薬剤師会をはじめ、他県でも活発に行われております。その中でも大阪市北区薬剤師会では継続的な資質向上につながるようマイスター認定制度というとてもユニークな試みをしているようです。

弘前地区では10月から本格的な運営を予定していますが様々なトラブルが想定されるため、現在弘前市薬剤師薬局と前田調剤薬局中央店にてプレ運営を行っております。吸入指導書などは弘前薬剤師会のHPからダウンロードできるようにする予定であり、また、近いうちに医師、薬剤師から構成される吸入指導研究会を発足し、連携がスムーズに行くように事例報告や講演会や定期的に行っていく予定です。

病院側と保険薬局側が力を合わせて、患者のためにできる努力は惜しまず一歩一歩進んでいければと思います。

新入会員



カロウジ ヨシタカ

唐牛 儒賢

みんゆう調剤薬局アルカディア
勤務



カマタ チヒロ

鎌田 千裕

みんゆう調剤薬局黒病前店
勤務

編集者：加藤 傑、佐々木 直実